

平成 26 年 8 月 6 日
国際木版画会議国際委員会

第 2 回国際木版画会議並びに

サテライト事業「版画スタジオ/AIR プログラム」開催のご案内

この度、国際木版画会議国際委員会では「第 2 回国際木版画会議」並びにサテライト事業「版画スタジオ/AIR プログラム」を平成 26 年 9 月 10 日(水)～14 日(日)の期間、東京藝術大学上野キャンパス、アーツ千代田 3331 を会場として開催いたしますのでご案内します。

平成 23 年 6 月に第 1 回国際木版画会議(IMC2011)が京都・淡路で開催されました。東日本大震災・原発事故直後にもかかわらずキャンセルもなく、22 カ国 108 人の参加を得て実施されました。この会議の成功を受けて第 2 回国際木版画会議(IMC2014)が計画され、東京藝術大学をホスト校として開催することになりました。

今回は 150 人以上の参加者が見込まれますが、海外参加者は 85%を超えると予想されます。環境や身体に優しい水性木版画は、新しい表現方法として関心が寄せられています。国際会議では水性木版画に係る技法、素材や歴史、社会的関係など様々な観点から論旨発表が行われます。(東京藝術大学美術学部 第 2 回国際木版画会議実行委員会主催)

国際木版画会議国際委員会では論旨発表に並行して「さまざまな場・さまざまな表現 - 世界の版画スタジオ&AIR」を開催しますので、詳細をご案内します。



第 1 回国際木版画会議集合写真 (淡路ウエスティンホテル 2011 年 6 月)

さまざまな場・さまざまな表現 – 世界の版画スタジオ&AIR

我が国で木版画のアーティスト・イン・レジデンスを長年取り組んできた、国際木版画ラボの提案により、世界の版画スタジオ／レジデンス プログラムを開催します。レジデンスで情報交換(道具、素材、技術、コンセプトなど)が行われる中、アーティストから、より専門的で学術的な情報交換の場が欲しいとの要望があり、第一回目の国際会議の開催へと至りました。第二回目の会議では、レジデンスの役割を見直し、国際的なネットワークづくりの機会を設けます。この度は、世界約 10 か国のスタジオ／レジデンスの担当者を招き、下記の3つのプログラムを実施します。

1) 担当者会議

版画スタジオと AIR の国際的なネットワーク作りを目指し、世界から版画レジデンス(もしくは版画工房)のディレクターや担当者の参加を得て、相互協力や交換プロジェクトについて話し合います。それぞれの版画工房が専門性を持ち合わせていることから、情報共有や相互協力を行うことで、版画関係者のネットワークの活性化につながり、アーティストがレジデンスを行き来しやすい環境が作れます。

日時: 2014年9月12日(金)13:00-16:00
2014年9月13日(土)17:00-19:00

2) オープンフォーラム

担当者会議の参加者がそれぞれのレジデンスや工房の様子についてプレゼンを行います。主に日本の美術大学生、また若い世代で海外のレジデンスに興味を持っている人が対象です。

日時: 2014年9月12日(金)17:00-19:30

3) 版画展「Inter-nation & Interpretation」

アーティストがさまざまな異なる国や地域で制作活動をし、その経験から生まれた作品を展示紹介します。企画はそれぞれの国のアーティストや版画スタジオ、レジデンスから提案されます。ここ

では、海外の版画スタジオやレジデンスで、アーティストたちがどんな作品を制作しているかを紹介します。(水性木版画だけに特化していません。)

日時: 2014年9月11日(木)～ 9月13日(土)10:00-19:00
2014年9月14日(日)10:00-15:00

出展版画スタジオ/AIR

1. オーストラリア
 - Melbourne Printmaking (Victorian College of the Arts / University of Melbourne)
 2. ベルギー
 - Frans Masereel Centrum
 3. ノルウェー
 - 20 Coastal Stations (Project)
 4. 日本
 - MI-LAB / Nagasawa Art Park
 - 株式会社フジグラフィックス(東京)
 - 北村工房(京都)
 5. オランダ
 - Amsterdam Grafical Atelier
 - Jan van Eyck Academie Charles Nypels Lab
 6. ポーランド
 - Strzeminsky Academy of Fine Arts
 7. イギリス
 - Oxford Brookes Printmaking Studio
 - East London Printmakers
 8. アメリカ
 - Constellation Studios
 - Donkey Mill Art Center
-

ペーパーダイアログ

水性木版画の環境に優しい安全性と、独特の柔らかな風合いは素材に拠るところが大きいです。水性版画のアーティストたちは、表現に適った素材や道具に対する思い入れが強く、情報収集にも熱心です。水性インクを使い摩擦によって摺り上げる木版画は、その支持体となる紙に強度が求められ、植物繊維から作られる和紙が最も適した素材と言えます。ただし、その植物の種類、特性は無論のこと、繊維の長さ、他の素材との混合比、紙の厚さ重さなど、幅広い知識や摺りの経験などが求められます。表現者にとって、触ってみることができる紙との接点を持つことや、素材情報を得ることは貴重な機会となります。

■ 版画用紙の展示販売

版画用の紙(和紙)を生産している産地やディストリビュータに、展示と販売の協力をお願いし、展示販売をいたします。伝統的な版画用紙だけに限らず、新しい水性木版画用紙の開発に取り組んでいるメーカーの参加も受け付けます。

日時: 2014年9月10日(水)12:00-19:00
2014年9月11日(木)10:00-18:00

■ ペーパーメーカーとプリントメーカーの対話

海外や国内のアーティストにとって、紙の作り手と使い手が意見交換をする機会は少ないようです。サテライトでは、日頃から抱える相互の課題、特に紙の特性や生産現場の現状、また、紙の注文、制作時のトラブルなどを話し合い、需要と供給の課題解決を見つけます。

日時: 2014年9月11日(木)19:00-21:00

	9.10(水)	9.11(木)	9.12(金)	9.13(土)	9.14(日)
9:00 - 12:00					
12:00 - 17:00	紙・道具 展示販売会 12:00 - 19:00	紙・道具 展示販売会 10:00 - 18:00	版画スタジオ/AIR のショーケース 10:00 - 19:00	版画スタジオ/AIR 担当者会議1 13:00 - 16:00	版画スタジオ/AIR のショーケース 10:00 - 15:00
17:00 - 21:00		対話 紙の作り手、使い手 19:00 - 21:00		オープンフォーラム 版画スタジオ/AIR 17:00 - 19:30	版画スタジオ/AIR 担当者会議2 17:00 - 19:00
			レセプション 19:30 - 21:00		

国際木版画会議国際委員会について

2011年6月に第1回国際木版画会議(IMC2011)を開催したが、この国際会議開催に向けてフィンランド、アメリカ、日本の関係者によって国際木版画会議国際委員会が設立された。この活動は1997年～2009年まで行われた水彩多色摺り木版画制作研修事業(兵庫県淡路市旧津名町・長沢アートパーク事業)に、海外から参加した百数十人の大学関係者、版画スタジオの専門家、アーティストのネットワークが母体となっている。この事業は1997年度文化庁 文化のあるまちづくり事業に採択。

第1回国際木版画会議終了後、山梨県富士河口湖に新たなレジデンスを開設し、東京・山梨に拠点を置き活動する国際木版画ラボ(MI-LAB)を母体としている。当該事業は2011年度～2014年度 文化庁 文化芸術の海外発信拠点形成事業に採択されている。

組織構成

国際木版画会議国際委員会は、環境にやさしい表現技法として世界から関心が寄せられている、日本の水性木版画の海外普及活動に取り組む団体。国内外の大学、版画スタジオの専門家、アーティストの連携によって運営されていて、大学における版画教育、版画工房の指導者、アーティスト・イン・レジデンスのディレクターなどの専門性を背景とする専門家集団である。

代 表：カレン・クンツ(米国・ネブラスカ大学リンコル校 教授)

副代表：カリ・ライティネン(フィンランド・アアルト大学 教授)

委 員：エイプリル・ボルマー(米国・アーティスト/版画指導者)

クレア・クッチオ(米国・日本文化史博士)

マイケル・シュナイダー(オーストリア・ウィーン応用芸術大学 准教授)

三井田盛一郎(日本・東京藝術大学 准教授)

門田けい子(日本・一般社団法人産業人文学研究所・国際木版画ラボ)

事務局(問い合わせ先)

東京都千代田区外神田 6-11-14 アーツ千代田 3331 B-109

国際木版画会議国際委員会事務局

一般社団法人産業人文学研究所内

事務局担当：佐藤靖之

e-mail：ho@mokuhanga.jp

電話：050-3304-9001 (090-6104-0871)

FAX：03-3234-6789

第2回国際木版画会議 版画スタジオ/AIR プログラム

主催:

国際木版画会議国際委員会

共催:

東京藝術大学美術学部 第2回国際木版画会議実行委員会
産業人文学研究所（国際木版画ラボ）

助成:

平成26年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業
アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

助成(参加者・団体支援):

オランダ王国大使館
City of Amsterdam
DutchCulture TransArtists
大和日英基金
グレイトブリテン・ササカワ財団
豪日交流基金

協賛:

カナダ大使館
淡路市

後援:

フィンランドセンター
ノルウェー王国大使館
オーストラリア大使館
アメリカ大使館

助成・協賛いただいた団体ロゴマーク



関 連 事 業

「Interactions:カナダー日本木版画展」

2014年8月6日(水)～9月12日(金)
於 カナダ大使館高円宮記念ギャラリー

2014年8月4日



Hiroko Furuya,
Tadayou-In, 2006

展覧会のご案内

カナダ大使館は、第2回国際木版画会議の関連企画としてカナダ人アーティスト3名、日本人アーティスト1名による木版画展を開催致します。

本展では江戸時代に日本で考案された「水性多色刷り木版画」を考察します。様々なテクノロジーが進歩し材料が普及したため、木版画を制作する海外のアーティストが今では増えてきました。異なる芸術的背景を持ち、その取り組みも異なる日加4人のアーティストが探求する木版画の芸術的表現の多様性を、皆様にお楽しみにいただきます。カナダと日本をテーマにしたこの展覧会は日加修好85周年を記念して開催されます。

第2回国際木版画会議では国際的な版画の交流をさらに活発化させるためにアーティスト・イン・レジデンス事業者の会議なども開催されることから、カナダ大使館高円宮記念ギャラリーでもカナダのアーティスト・イン・レジデンスを紹介する資料なども掲示されます。

アーティストについて:



Danielle O'Connor Akiyama,
...a glimpse, 2013

エリザベス・フォレストは、オンタリオ・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインを卒業し同校で教職に就いたのち、1988年、京都で木版画を学びました。その後トロントでスタジオを主宰し木版画の指導にもあたっています。第2回国際木版画会議では論旨発表を行います。ダニエル・オコナー・アキヤマはトロントを拠点に墨絵の技法を取り入れ、主に花をモチーフに絵画を制作しています。ブレンダ・ペテイスはブリティッシュ・コロンビア州のカモーション・カレッジで視覚芸術を教えています。ドローイング、写真、パフォーマンスといった分野で主観的、社会的、政治的環境におけるアイデンティティと記憶をテーマにした作品を制作しています。アキヤマとペテイスはMI-LAB 河口湖アーティスト・イン・レジデンスに参加し木版画の技法を学びました。古谷博子は、中堅の版画家として国内外で記憶の断片をテーマとして作品を発表し数々の受賞経歴を持っています。多摩美術大学で教授として後進の育成にも携わっています。

【 記 】

日時: 2014年8月6日(水) ~ 9月12日(金)

- 平日: 午前10時から午後5時半まで
- 水曜日: 午前10時から午後8時まで (8月13日、20日は午後5時半まで)
- 土、日は休館

場所: カナダ大使館高円宮記念ギャラリー

(東京都港区赤坂 7-3-38 地下鉄「青山1丁目」駅より徒歩5分)

入場：無料

お問い合わせ先：

カナダ大使館広報部

Tel: 03-5412-6257

E-mail: TOKYO.CC@international.gc.ca

メディア関係のお問い合わせ先：

Tel: 03-5412-6444

(メディアライン：清水、江島、明林)

ツイッター：[@CanadaNihon](https://twitter.com/CanadaNihon)